

玉野・児島

合同で観光マップ作成

瀬戸内海の名所紹介

玉野商工会議所（岡山県）と児島商工会議所（同）は合同で、瀬戸内海に面した地域の観光マップを作成した。瀬戸大橋開通30周年の節目を迎えた昨年、両地区を結ぶエリアの観光や産業の振興を合同で進めている両所は、瀬戸内海に沿って東西に延びる国道430号線の宇野港（玉野市）から児島観光港（倉敷市）区間を、公募によって「王子マリンロード430（よんさんまる）」と命名した。瀬戸



写真入りで分かりやすい地図④「王子が丘」から見た瀬戸内海⑤



内海を一望できる「王子が効果的と判断。今春から開催の瀬戸内国際芸術祭やクルーズ客船宇野港寄港に伴うインバウンド増加も視野に、観光振興を目指す。地図には、代表的な名所と共に、造船のまち「玉野」など5万部発行し、観光案内所などに設置しているほか、玉野商工会議所のホームページからもダウンロード可能。詳細は、<http://tamano-ci.jp/notice/1131.html>を参照。